

天覧山-多峯主山（とうのすやま）-龍崖山 新年ハイキング

2024.01.10 服部記

2024年1月9日、龍の年の初めてのハイキングとして、「天覧山-多峯主山-龍崖山」ハイキングを実施した。前日の風も止み、雲一つない快晴、気温は低いものの絶好のハイキング日和になった。

8:30 飯能市民会館第2駐車場に集合。今回初めて参加したメンバーが渋滞に遭遇し遅れるとの連絡を受ける。ただ、一人で多峯主山まで行けるとのこと、じっと待っているのは寒いのでゆっくり歩き始める。そして登山道入口の休憩場所で少し待ち合流する。それから20分ほどで天覧山頂上に着く。近くにいた金髪の美人の日本人ハイカーに、集合写真のシャッターをお願いする。



真っ白な富士山やスカイツリーを確認して、多峯主山を目指す、一旦、鞍部の沢に下る。そして多峯主山の登り口にある牧野富三郎が命名した「飯能笹」を観察する。見分け方などの説明板があるが、普通の笹との区別が良く分からない。

比較的緩い歩きやすい登山道をたどり 9:45 多峯主山頂に着く。





先行登山者が数人いる。その中に写真の見事な髭のおじさんがいた。話しかけると、もう 12 年このひげを伸ばしているとのこと。そのいきさつやここから見える山の名前、また我々が龍崖山へ行くと知ってその距離が短く歩きやすい道を教えてくれる。この中身は長くなるので割愛する。実は親切なおじさん（おじいさんであるが、我々に年齢が近く、「おじさん」と表記）には悪いが、話が長く、切り上げのきっかけが難しかった。



しばし、眺望を楽しみ、尾根直下のトイレで用を済ませ吾妻峡に向って下山。入間川をドレミファ橋で渡る。橋を渡る時、以前に服部がカメラケースを流したことを思い出した人がいた。本サイトにこの時の報告がまだ残っている（ハイキング部報告 2016 年 12 月 22 日付け）。実はその記事は私が書いた。

八耳堂に 11 時に着く。またここでも用を足し、お堂脇からいざ龍崖山頂へ。11 時 30 分、頂上に着く。このルートには適当な間隔でトイレがあり「どこでもトイレ」を使わなくて済む。ありがたい。

ほぼ独立峰の山頂なのに風がない。木漏れ日が当たり暖かい。ここで食事。龍の年のせいか、結構登山客が多い。若いハイカーも登ってくる。



食事が終わっていざ出発。20 分で入間川沿いの県道に降りる。



この県道を駐車場まで歩く。13：00 駐車場に着く。計画より 1 時間早い。

今回は天気も良く快適なハイキングになった。少しあっけなく、物足りなく感ずるメンバーがいたかもしれない。明日は筋肉痛になることはないだろう。

次回は番外編で 1 月 16 日(火)、高麗神社初詣―富士山―日和田山。2 月は 13 日(火)長瀬アルプス―宝登山の予定。今日みたいないい天気だといいね。

以上